

もっと清水が好きになる。

しみの風

2022

10

No.588

特集

悠久報徳



創刊50周年

50th
ANNIVERSARY



グローイング フェイス

Glowing Face

■ いま、清水で輝いている人たち

青木 達代 (67) さん JAしみず女性理事

〇あおき たつよ/米120a、野菜50a、タケノコ50aなどを栽培。
2017年6月から理事(女性枠)に就任。

転機となった女性部活動

新米の季節。山あいを抜け、平らな畑が広がる茂野島地区。青木さんの水田も稲穂が垂れ始める。「害虫や病気が出ない限り、農薬は必要最低限にしています」と話しながら畑を案内してくれた。他にもオクラ、ナス、サトイモなど多品目を「ご主人と一緒に栽培している」。

女性部に加わったのは、両親の家業を手伝い始めた30代の頃。西河内支部長を経て2014年、副部長に就任した。「本部の運営に関わると、地域を超えてさまざまな作物を栽培する部員の皆様とお話する機会が増えました。女性部活動の面でも家業の面でも、良い刺激になりましたよ」と楽しそうに話す。副部長退



■ 直売所に出荷しているオクラ

声を届けていくことが 働きやすい農業・便利なJAに繋がる

任後、2017年からはJAしみずの理事を務めている。

男女皆が 声を届けられる組織に

理事の女性枠はわずか2人。就任当時は男性の理事とどう接していいのかわからず緊張したという。不安の中、

理事研修会等で交流を重ねていくうちに打ち解けていった。理事を務めて今年で6年目となり、地域の声を積極的に届け、JA運営に携わっている。

「たとえ男性の理事と同じ意見でも、女性の声を届けることが大事です」と熱い思いを語る。理事の女性枠ができるまでは、JA運営は男性が中心で、女性の声を直接届ける機会が少なかった。女性枠が設けられてからは、先輩理事の発案により、重く持ち上げることが「苦労だった20キロの肥料が、持ち運びやすい15キロに変わるなど、意見が反映されることも増えた。

「男女分け隔てなく、一農家としての考えをJA運営に活かしていきたい」と意気込む青木さん。女性の理事が増え、皆が同じように声を届けられる体制になればと期待を寄せる。

女性ならではの 視点を活かして

今後の展望を伺うと「女性に優しいJAにしていきたい」と話してくれた。



9月中旬から収穫期を迎えるコシヒカリ

地域住民にとって身近な存在である支店の利用客は、女性が比較的多い。女性が便利で利用しやすいJAにしていきたい。JAがあつてよかった」と満足してもらえよう改善していく。

取材の最後に「この白いブラウス、JAの購買で買ったんですよ」と両手を広げて披露する青木さん。曇らない澄んだ青空に、白い太陽が力強く輝いていた。



心地いい風が吹く茂野島の菜園

CONTENTS

ふみの風

2022
10
No.588



記事の一部は
Youtubeで配信
しています。

2 Glowing Face
青木達代さん

4 特集 /
悠久報徳

8 TOPICS

10 育ててみよう家庭菜園
～ 葉ダイコン ～

12 営農ワンポイント
～ 11月編 ～

15 遠山由美のこだわりレシピ
～ しいたけ肉団子 ～

16 農業の未来とSDGs
～ 静岡市政への政策要請 ～

17 アーカイブしみず
～ 山切の水田転換 ～

18 Information

20 ちょっと一息*リフレッシュ!
～ 渋川中公園 ～



左から平井敏之さん(50)、滝靖章さん(26)
平井和彦さん(42)

袋井市で米を栽培する平井敏之さんと和彦さん兄弟、敏之さんの息子の滝靖章さん。「今年の味も上出来」と話す平井さんたちは、食味と粘りを重視して「こしひかり」や「きぬむすめ」などを約60haの水田で栽培している。JA耕種研究会の「しみずの風こしひかり」は、当JAや産直プラザふれっぴーなどで販売中。

今月の表紙

私

たちの祖先がお米をつくり、農業を起したのはほんの2000年前の事。私たちは農業についてまだ不勉強なのかもしれません。しかし、この歴史の中で私たちは自然の力を知り、協同の心を知りました。農業は人と自然の営み。そして人と人の協同の営みです。」

今から40年前、1982（昭和57）年、JALしみず合併10周年記念誌の一節には、こう書かれています。

合併20周年誌では「前途悠久（ぜんとうきゆう）というメッセージを掲げ、さらなる農業の発展を目指してきました。」

そして今年50周年を迎え、もう一度原点に立ち返り、農業とは協同とは何かを考え直してみました。

農業は支え合いの文化

農業は、寄り合いや協同活動で成り立ってきました。互いの目標に向かって話し合い、納得の上進めていく協同組合の考え方は、過去から現代に脈々と受け継がれています。

写真は村松・矢部の基盤整備地です。清水の農業をより良い形で未来へ残していくために始まった基盤整備事業にも、協同の精神が根底にあります。

矢部地区は、住宅に近く、県立指定公園でもあるため、事業開始に至るまで、近隣住民には慎重に説明が繰り返されました。また、村松地区はIAIスタジアム付近から矢部地区に抜ける市道の建設と合わせて造成。インフラ整備をう



特集

悠久報徳

JALしみずは、10月1日に合併50周年を迎えました。9月号ではこれまでの事象を中心に半世紀の歴史を振り返りました。今月号では一時代をけん引した「人」にもスポットを当て、歩みを振り返ります。

「守り」から「攻め」の農業へ

JALみずの歴史の中で、最も重要な取り組みの1つが、中山間地における基盤整備事業です。時代の急激な変化の中、先を見据えて柔軟かつ能動的に問題を解決しようと働きかけたのは、清水の農業の未来を守ろうとした生産者、そしてその声に耳を傾け、寄り添い続けた関係者です。管内13地区で事業が進んだ背景には、地域のために尽くし共に助け合おうという「報徳の精神」が流れています。



平坦になった整備地では、大型農機の使用が可能になった(梅島地区)

50周年記念 みかん花酵母仕込み

JALみず合併50周年を記念して、地元・清水のミカンの花から採取した酵母、清水の米生産者が生産した酒米「誉富士」を使用し、清水の酒造会社3社が造ったオール清水の日本酒が完成しました。いずれも純米吟醸酒ですが、味わいは三者三様。それぞれの酒蔵の特徴を生かしたオリジナリティ溢れる味わいや風味を是非お楽しみください。



3本セット(各720ml)で、5,500円(税込み)



楽天市場



JAタウン

インターネットで
好評販売中!

「持続可能な農業」を目指す
大きく活用し、地域にも配慮したこの事業は、316人の地権者100%の合意により、農家の思いを形にした結晶です。

広大で平坦な畑では大規模な機械化農業やITの活用、スマート農業が盛んに行えるようになりました。新規就農者にとっても就農しやすく、観光農園や収穫体験などの可能性も広がります。働きやすい畑になったからこそ、積極的に省力化、機械化ができ、それによって生まれた余力を自分の目や手で行う管理方法に変えていけば、所得向上にもつながってきます。基盤整備地には新しい風が吹いています。





【第1章:基盤整備事業】
傾斜地の平坦化によって、より安全で効率の良い農地に作り変えてきた農地基盤整備事業の歩みを掲載。



【第2章:農産物の紹介】
ミカン、お茶をはじめ、清水で栽培される自慢の農産物とそれらを使った加工品を紹介。



【第5章:50年の歩み】
1972年の合併から現在まで、半世紀にわたる軌跡を写真とともに振り返ります。



【第6章:役員紹介】
JAの発展のために活躍された歴代の常勤役員と理事、現役員の皆さんを紹介しています。

合併50周年記念誌 悠久報徳

50年の軌跡をまとめた
動画と記念誌は
WEBでも見ることができます



「悠久報徳」に込めた願い

タイトルの「悠久報徳(ゆうきゅうほうとく)」には、二宮尊徳の教え「報徳思想」が今後も永遠に受け継がれていってほしいとの思いが込められています。

教えの中の二つ「至誠(しせい)」とは思いやりの事です。自分や地域が発展するために真心をもって仕事に励み、私利私欲を抑えて生まれた利益を自分の将来や社会に譲るといふ教えです。

これはまさしく「相互扶助」の考え方であり、農業協同組合の原点としてあらゆる場面で息づいています。

制作秘話

第1章は「基盤整備事業」の紹介です。事業を進める道のりがとても困難だった事を改めて思い知り、幾多の課題を乗り越えてきた先人の熱い思いを感じました。基盤整備事業の歴史をひもとき、各地区の詳細をまとめました。

第2章「農産物の紹介」では、清水の特産品を掲載。指導員と連携しながら制作にあたりましたが、指導員の農産物や仕事へのこだわりがよく分かりました。

第5章「50年の歩み」は、読者の皆さんが一番興味のあるページだと思います。関係者の皆さんの懐かしい顔やイベントを中心に掲載する事を心掛けました。読者一人一人が、それぞれの思いを巡らせていただけたら幸いです。

第6章「歴代役員」では、JAを支えていただいた方々の写真を、懐かしく見る事ができます。

全ページにわたり清水の農業の歴史、先人の軌跡を残せればと力を注いできましたが、丁寧に記録し続けてきた豊富なデータがあったからこそ、このような形で完成する事ができました。

ご多忙の中で取材などにご協力いただいた生産者や関係者、ならびに貴重な資料の提供や励ましの言葉をくださった皆さまに厚くお礼を申し上げます。

これまでも、これからも「あなたの立場で一生懸命」

JAしみずが合併50周年を迎えるにあたり、これまで多くの組合員、地域の皆さまに支えていただき、ここまでこられた事を、まずもって感謝申し上げます。

50年という長い年月は、決してうまくいく事ばかりではなかったと思いますが、農業を通じた「思いやり」から生まれた地域の風土が、JAを支えてきてくれたと感じております。

先人の皆さんがさまざまな困難を乗り越えてこられたからこそ、私たちの今日があります。「農業の未来とは」「地域の繁栄とは」と行き当たった時、先人たちは後世に残すものは何か、周りの人々の幸せとは何かを最優先に考えてこられました。JAしみずはこれからの50年も、「あなたの立場で一生懸命」をモットーに、JAしみずらしくありたいと思っております。

地域の皆さま、お一人お一人の思いやりに応えられるよう「農協があつて良かった」と言っていただけよう精進してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いたします。末筆になりますが、組合員・地域の皆さまの益々のご活躍をお祈り申し上げます。



代表理事組合長
柴田 篤郎

あの頃の思い出

JAしみずが今日までに至ったのは、先人のひたむきな努力の積み重ね、多くの関係者の支援と協力があったること。JAと農業の発展に尽力した3人に当時の思い出をお話いただきました。



乾 禄朗 さん (95歳)

合併当初～1980年度まで常務、1981～83年度まで専務

清水市農協の発足当時、45歳の若さで営農販売担当常務に就き、農業と農協の飛躍に尽力された乾さん。当時、「農協の仕事を半分とすると、農家のための仕事はそれ以上にがんばっていた」と話し始めてくれた。一週間かけて仙台や北海道へミカンを売り込みに回った事もある。農家の手取りを上げるために必死だった。

1973(昭和48)年、清水市農協加工部は日本で初めて缶コーヒーを製造。「元気な時代だった。自分の事よりみんなのために身を粉にして働き、みんな立派だった」と当時の先輩や部下たちに敬意を払う。

一方「昔は厚生病院の周りも畑ばかりだった」と景色を懐かしみ、現役時代を楽しそうに話す表情が印象に残る。帰り際に「農協のためなら何でも話すから、いつでも来ていいよ」。この思いに支えられて50年目を迎えた。



農畜産物輸入自由化阻止街宣活動(1983年)



杉山 百合子 さん (87歳)

1984～86年度婦人部副部長、1987～89年度婦人部部长、1990年度婦人部監査委員

「みんな一生懸命。周りの人も良くしてくれたから続けられた」と、満面の笑みで迎えてくれた杉山さんは、当時の柴田洋組合長や望月幹雄総務部長、事務局の山下一枝さんなどの事を懐かしむ。思い出に残っている活動は、韓国への視察(清水市農協から約80人、県内約2,000人が参加)、婦人部運動会、青島ミカンのPRを行った事、青年部との合同イベントなどと言う。

「よく会ったし、人もそろった。イベントの後の打ち上げや会食の事を一番覚えているかな? 楽しかった」と照れながら話す。

世代交代については「いかに上手に、次の世代につなげられるかが大事ですね。農業、家庭、JAも一緒でしょう。ベテランと若手では考え方も違って当然。でも仲良くしないと、お互い協力する事が大事」と話す。古い写真を見ながら「昔の事を思い出すのも良いですね」と笑顔で話してくれた。



婦人部リーダー研修会(1986年)



田島 宏一 さん (60歳)

2001～02年度青壮年部長、2017年度からJALしみず理事

青壮年部活動の思い出を聞くと「みんな、よく飲み、よく遊び、よく勉強した」と話してくれた。会合よりも「ワイワイ飲んで、いいアイデアが浮かんだ事も」と続けた。

思い出のイベントは、女性部・職員・一般市民を交えての、岩手大学准教授(当時)佐藤幸也氏の「食農教育」講演。当時、青壮年部がこうした企画を行う事は先進的で、講演を機に交流も広がり、岩手への視察が実現した。「活動を通して、多くの人と出会えた事は財産だ」と語る。

青壮年部広報誌「S-Youth」の発行、経営講座、女性部との連携など、今に続く活動の礎ができたのは、田島さんの時代。先進的に取り組む姿勢は、今も部員たちに受け継がれている。「農家が安心して農業生産ができるようにする事。これがJAの使命。一緒に知恵を出し合っていきたい」と、現在も理事として活躍する。



青壮年部・女性部合同の岩手県視察(2002年)

JA銀杏部会 ギンナン収穫 仕上がりに自信

JAしみず銀杏部会は8月30日、秋の味覚ギンナンの収穫を始め、9月1日に初出荷しました。この時期のギンナンは鮮やかなひすい色で、もっちりとした食感が特徴。早生の「金兵衛」から始まり、出荷量の5、6割を占める主力の「久寿」「藤九郎」と品種を変えて、12月ごろまで続きます。



▲ 棒でギンナンの実を落とし、収穫する従業員

同部会の青木亮太さん(25)は「例年に比べて大玉で味も外観も良い。肥料が高騰しているので、種類を変え、与える時期を見極めるなど栽培方法を工夫した」と自信を見せていました。

同部会の青木亮太さん(25)は「例年に比べて大玉で味も外観も良い。肥料が高騰しているので、種類を変え、与える時期を見極めるなど栽培方法を工夫した」と自信を見せていました。

JA柑橘委員会 極早生ミカンを出荷 早めの収穫好評

露地ミカンのトップバッター極早生ミカンの出荷が9月1日、JAしみず柑橘共選場で始まりました。極早生ミカンは、香りが高く爽やかな甘酸っぱさが特徴。

旬を早く味わいたいという消費者のニーズに応え、昨年からの集荷の着色基準を撤廃し、出荷を早めています。市場からも好評なため、今年も早めの収穫を呼び掛け、全国的にも早い出荷となりました。

JA管内では約100戸が栽培。9月下旬まで、静岡市内と京浜方面の青果市場へ約150トンを出荷しました。



▲1次選果で外観を確認する作業員

庵原茶業会 地域の子どもたちに茶贈呈

庵原地域の共同茶工場(茂畑共同・吉原共同)で組織する庵原茶業会は9月8日、地域のこども園2園と小中学校へ地元茶を贈りました。子どもたちに地域の基幹産業である茶に親しんでほしいと、約20年前から毎年続けている取り組み。

杉山一弥会長とJA営農振興センターの望月保秀主任が原・庵原こども園と庵原小、中学校を訪れ、それぞれの代表者へリーフ茶と一煎パック計約27kgを手渡しました。庵原小学校の酒井貴代校長は「毎年ありがたい。地域の産業について、子どもたちに伝えていきたい」と感謝しました。



▲一煎パックを手渡す杉山会長(左)

清水区のJAグループ 清水署に交通安全宣言書を提出

秋の全国交通安全運動(9月21~30日)に先立ち、静岡市清水区のJAグループは9月13日、交通安全宣言書を清水署に提出しました。

提出したのは、JAしみず、清水厚生病院、介護老人保健施設きよみの里、(株)ジェイエイしみずサービスの4団体。代表者6人が同署を訪れ、従業員とその家族980世帯、2,307人が署名した宣言書を八木瑞生署長に手渡しました。

柴田篤郎組合長は「JAグループ内では大きな事故もなく、署名によって安全意識の向上になっている」と話しました。



▲宣言書を提出する柴田篤郎組合長(右)

県なし果実品評会 昨年続き、瀧さんが金賞

県落葉果樹振興協会は8月5日、駿河区の県農業会館で第21回県なし果実品評会を開き、最高賞の金賞・県知事賞をJAしみずの瀧さんが獲得しました。瀧さんは昨年も金賞を受賞。最高糖度は12.5、平均11.6でした。

出品はJAふじ伊豆が4点、JAしみずが3点、JA大井川が7点。審査員が100点満点で外観と内容をきめ細かく厳正に採点しました。審査委員長を務めた県果樹研究センターの松浦英之センター長は「7月の天候不順で出点数は少なかったが、少数精鋭でいいものがそろい、審査は大変だった」と評価しました。



▲ 出品された梨を採点する審査員

JAしみず・JA静岡市 カーブミラーを静岡市へ寄贈

JAしみずとJA静岡市は8月24日、静岡市役所薬庁舎を訪れ、田辺信宏市長にカーブミラーを8基ずつ寄贈しました。旧静岡市と旧清水市が合併した2003年から毎年行っていて、累計368基になりました。

JAしみずの柴田篤郎組合長とJA静岡市の大原正和組合長が目録を手渡し、柴田組合長は「交通事故防止に役立ててください」と話しました。

田辺市長は「カーブミラーは地域住民からの要望が強く、地域内の事故の多い場所や視界の悪い場所に設置したい」と感謝を述べました。



▲ 目録を手渡し柴田組合長(右)と大原組合長(中)

ATMに詐欺防止の音声を設置 清水警察署から感謝状

JAしみずは8月17日、清水区内の特殊詐欺防止への協力に対し、清水警察署から感謝状を受け取りました。

清水署は8月上旬、還付金詐欺への注意を呼び掛ける広報音声を作成。メッセージセンサーを設置したATMの前に立つと「ちょっと待ってください」「詐欺ならあなたのお金は戻ってきませんよ」などの音声流れ、詐欺を防ぐねらい。当JAは清水署と連携し、有度、飯田、庵原支店のATMコーナーに設置しました。

これに対し、八木瑞生署長ら関係者が本店を訪れ、柴田篤郎組合長に感謝状を手渡しました。



▲ 感謝状を受け取った柴田組合長(中)

女性部飯田支部 世界に一つのオリジナル藍染めが完成

女性部飯田支部は9月5日、同支店のみそ部屋で日本の伝統的な染色の藍染めに挑戦しました。元JA職員の入江登美子さんを講師に、部員など16人が参加しました。

園地で栽培した「タデアイ」という植物の葉をゆでるなどして作った生葉液と、酵素液を混ぜて染料液を作り、小さな布バッグやマスクなどを漬け込んだ後、干して完成させました。

藍染めは、染料は同じでも漬け方によって模様が変わり、部員たちは「オリジナルのバッグやマスクができてうれしい」と話し合っていました。

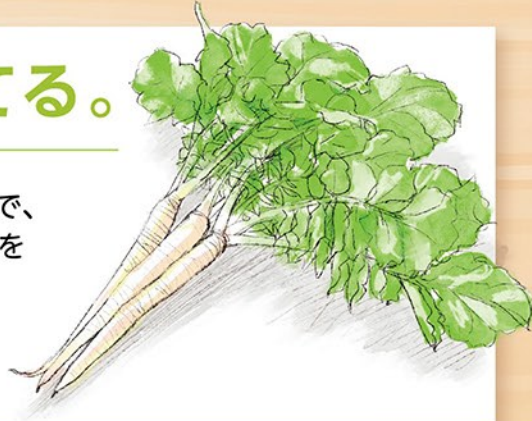


▲ 藍染めを楽しんだ部員たち

葉ダイコンを育てる。

葉を主目的として栽培されるダイコンで、厳寒期を除き、数回に分けて種まき時期をずらせば、ほぼ1年中栽培できます。

生育期間は夏どりで20日、冬どりで約50日と短い期間で収穫できます。



家庭菜園

作付け10～15日前に、完熟堆肥、ほう素入り粒状固形肥料080を施し、15～20cmくらいの深さに耕す。

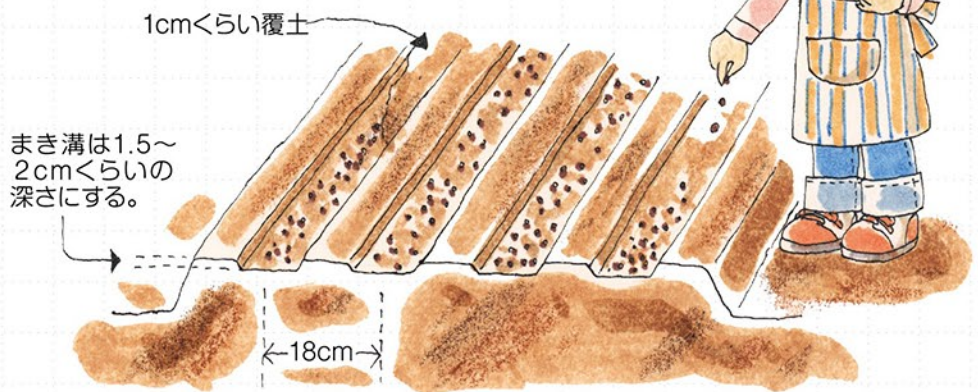


1 畑の準備

畑が空き次第、苦土石灰を施し、よく耕しておくこと。

2 種まき

畝は平畝とし、表面を平らにならしてから、約18cm幅の条にばらまいていく。



■施肥例

1aあたり

種類	種類	施肥量	備考
元肥	苦土石灰	9kg	作付け20日以上前に施用
	完熟堆肥	90kg	作付け10～15日以上前に畝の芯へ施用
	ほう素入り粒状固形肥料080	6kg	
追肥	ほう素入り粒状固形肥料080	3kg/回	夏季は不要

※ 上記の肥料・農薬は、JAグリーンセンターでお買い求めいただけます。

※ 農薬は、ラベルに記載された安全使用基準を守って使用しましょう。

ご注意ください 毒物、劇物に指定されている農薬は、購入の際に印鑑が必要です。

グリーンセンター直売

2021年11月の 売上ランキング

1位	温州ミカン
2位	柿
3位	抜き柿
4位	トマト
5位	キュウリ



3

間引き

発芽したら密生している部分を間引きする。さらに本葉3~4枚のころに、2回目の間引きをする。3回目の間引きで最終株間を5~6cmにする。

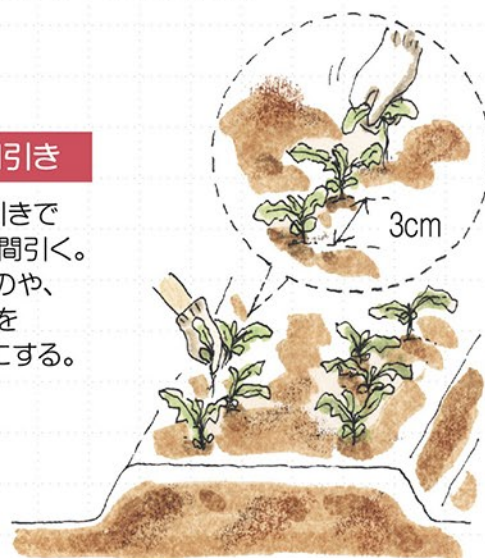
第1回間引き

一度に間引きをしすぎないようにし、あくまで接近しすぎたものを間引く。



第2回間引き

2回目の間引きで3cm間隔に間引く。徒長したものや、わい性の苗を間引くようにする。



5

収穫

厳寒期を除いて、ほぼ1年中栽培、収穫できる。25~30cmに伸長した時が収穫時期。



根元から引き抜く

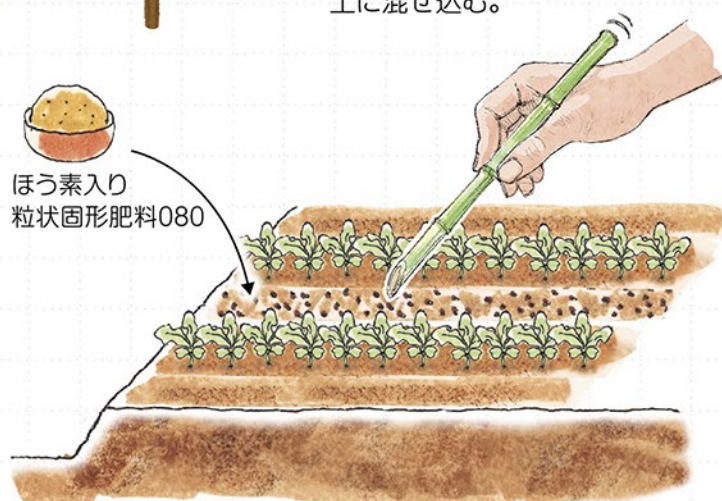


成熟したミニダイコンは酢漬けなどにすれば、風味もありおいしく食べる事ができる。

4

追肥

第2回の間引きの後、列の間にばらまき、竹べらなどで土に混ぜ込む。



ほう素入り粒状固形肥料080

葉が茂り、アブラムシが付くようなら防除を行う。収穫までの栽培期間が短いので、農薬の使用時期には注意する。

■栽培カレンダー

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
春どり		●	●	■	■	■	■	■	■	■	■	■
夏どり					●	●	■	■	■	■	■	■
秋どり								●	●	■	■	■
冬どり	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

トンネル被覆 ● 種まき ■ 収穫

■病害虫防除

農薬散布量：30ℓ以内/1a

対象病害虫	薬剤名	希釈倍率	使用時期	使用回数
白さび病、軟腐病	コサイド3000	1,000~2,000倍	-	-
アオムシ、コナガ、ヨトウムシ	プレバソンフロアブル5	2,000倍	収穫前日まで	3回以内
アブラムシ類	エコピタ液剤	100倍	収穫前日まで	-

※間引き菜、つまみ菜を収穫・出荷する際は、農薬ラベルに「間引き菜、つまみ菜には使用しない」と書かれた農薬を使用しないこと



茶樹はこれからの季節、夏から秋にかけて葉の光合成によって作られた栄養分を茎や根に転流貯蔵すると共に、耐寒性を増していきます。来春に向け寒害対策と越冬害虫の防除を適宜実施しましょう。

■寒風害対策

冬の季節風が強く当たる茶園や、標高が高い茶園、冷気が溜まりやすい園地では被害が発生しやすいので、下記を参考に寒風害対策を実施してください。

○防風垣の設置

防風垣の設置は、茶樹に当たる風を弱める効果があるため、寒干害や寒風害の防止効果があります。

防風ネットを設置する場合には、通風率50%程度の網目(4~6mm)を使用し、主風向に対してできるだけ直角に設置してください。

また、幼木園は、ソルゴー等の冬作物を畝間に作付けして、寒風が当たらないようにする寒風害対策もあります。

○敷き草の施用

畝間に敷き草をすることで、地温の調節や土壤凍結・乾燥を抑制する働きが期待できます。

《成木園》

有機物の投入による土壌の物理性の改善にも繋がりますので、畝間全面に施用するようにしてください。

《幼木園》

畝間全面に敷き草を敷くと、地面からの放射熱が利用できず、逆に冷気が溜まり寒害を受けてしまう恐れがありますので、株元に寄せて敷き草を行ってください。

※投入量の目安は、10a当たり800~1000kgです。

■裾刈り

ダニやチャトゲコナジラミの越冬場所は、裾部の葉裏です。秋整枝前の裾刈り時期が早く、裾部が再度開葉すると害虫の巣となりますので、再開葉した葉を落とす程度に裾刈りを実施しましょう。

■病虫害防除(表①)

春先のダニを予防するためには、越冬ダニの防除が重要です。多発すると薬剤の効果が著しく低下してしまうので、ダニの発生を確認次第直ちに防除を行ってください。

裾部の葉裏にも、確実に薬剤が行き渡る様に散布を行ってください。

○チャトゲコナジラミについて

チャトゲコナジラミの防除は、表①を参考に、アタックオイルの単用散布による防除を行ってください。ただし、極寒期(12月~2月中旬)のマシン油防除は、赤焼病の発生を助長する恐れがありますので避けてください。

また、大量発生が確認された園は、あわせて春先(一番茶萌芽前~3月上旬)にダニゲッターフロアブル2000倍(7日~1回)を散布してください。

表① 病虫害防除

散布時期	対象病虫害	薬剤名	希釈倍率	日数	回数	対象効果
秋整枝後 10月下旬~11月上旬	カンザワハダニ チャトゲコナジラミ	アタックオイル ※単用散布	100倍	28日	-	幼虫 成虫

※極寒期の散布は、赤焼病の発生を助長するため、12月~2月の散布は避ける。



■病害虫防除

表①を参考に防除してください。早生、青島温州は収穫時期となります。散布薬剤は収穫前日数に注意してください。

表① 病害虫防除(柑橘)

品 目	散布時期	対象病害虫	薬剤名	希釈倍率	使用基準※1	茶登録
青島温州	11月中下旬	貯蔵病害	ベンレート水和剤	4,000倍	前日-4回	○
			ヘフラン液剤25(劇)	2,000倍	前日-3回	×
中晩柑 (ポンカン・はるみ)	収穫前	貯蔵病害	ベンレート水和剤	4,000倍	前日-2回	○
			ヘフラン液剤25(劇)	2,000倍	前日-2回	×

※1 使用基準は「収穫前日数-散布回数」をあらわす。

【その他共通注意点】 ミカンハダニ発生園ではダニゲッターフロアブル2,000倍(前日-1回)を散布する。

表② 施肥(柑橘)

品 目	施用時期	肥料名	施用量
極早生	収穫後	かんたくんBB 改	3袋/10a
早生温州	11月上旬		
青島温州	11月中下旬		
太田ポンカン	11月上旬		2袋/10a
はるみ・不知火・清見	11月上旬		3袋/10a
甘夏・スルガエレガント	11月上旬		

落 葉 果 樹

■病害虫防除

キウイフルーツは収穫前日数に注意し、貯蔵病害予防に努めてください。収穫直後の防除は、収穫キズから病害の侵入を防ぎます。

■管理作業

梨は、表④を参考に元肥を施用してください。
キウイフルーツ(ハイワード)の収穫適期はおおむね11月中旬で糖度7度以上です。
落葉果樹は12月にかけて落葉期となります。落ちた葉は翌年の各種病害の発生要因となるため、園外へ持ち出し、処分してください。

○ 苗木の植え付け

落葉果樹(イチジクを除く)は苗木の植え付け時期となります。適地適作を考慮のうえ、植栽してください。健全な生育を促すため、右記の点に気をつけてください。

■管理作業

粗皮果、軸太果、著しい外観不良果は収穫直前まで何度も園地を見回って樹上選果してください。

秋肥は着果で収奪された養分の補給と耐寒性の向上、翌年の発芽や花芽分化の促進のために施用します。表②を参考に速効性の高い化成肥料を施用し、地温低下前に吸収させることがポイントです。

① 植え付け前の土づくり

苦土石灰・溶りん・堆肥などを土と混和し、土づくりをしてください。

② 植え付け時

購入した苗木は根を乾かさないように保管し、できるだけ早く植え付け作業を行ってください。根と土の間に隙間を作らないようにしてください。接木部分に土が被さると自根が出やすくなるため、深植えしないようにしてください。

③ 植え付け後の管理

植え付け後、根が活着するまでは、敷き藁とともに定期的なかん水を実施し、乾燥に十分注意してください。

苗木先端の切り返しは2月中旬を目安に行ってください。

表③ 病害虫防除(落葉果樹)

静岡県落葉果樹振興協会発行栽培暦より抜粋

品 目	散布時期	対象病害虫	薬剤名	希釈倍率	使用基準※1
キウイフルーツ (ハイワード)	11月上旬	貯蔵病害(灰色かび病)	ストロビードライフフロアブル	2,000倍	前日-3回
	収穫直後	かいよう病	コサイド3000	2,000倍	収穫後~ 果実肥大期まで
			クレフノン※2	200倍	

※1 使用基準は「収穫前日数-散布回数」をあらわす。 ※2 コサイド3000を散布する際はクレフノンを200倍で加用して使う。

表④ 施肥(落葉果樹)

品 目	施用時期	肥料名	施用量
梨	10月下旬~11月上旬	梨配合1号	10袋/10a

■省エネ対策と温度管理について

11月は本格的な加温時期となります。この時期に、省エネ対策として有効でありながら実行率が低いと思われる温度管理について紹介します。

- ①サーモは設定どおり正確に作動しているか、作物の下限温度以下になっていることはないか、温度計で測定して確認する。
- ②サーモの位置は、作物の高さ(生長点の位置)とし、施設内で一番冷える箇所(ハウスの四隅や加温機の死角など)を目安に設置する。
- ③必ず施設内の温度を点検し、温度ムラがある場合は温風の偏りを是正するなど改善を行い、できる限り温度の均一化を図る。

- ④保温資材の破損している部分は、補修テープ等で修繕する。

適切な温度管理ができていないと、作物の生育を悪化させる場合もありますので、省エネ対策も含め、必ず実行することをお勧めします。



花 卉

■千両の出荷準備

千両は11月上旬より収穫に入り、12月中旬の千両市に向けて出荷の準備が始まります。千両市は、各市場とも年に一度しか開かれないため、例年この時期に出荷作業が集中します。そのため、早い段階から収穫と選花作業を順次進めておくことが重要です。

10月下旬になると早生系の品種は実が赤く熟してきますので、収穫を始めます。収穫は切れ味のよい剪定バサミを使用し、切口から株への病害の感染を防ぐた

め地際から3~5cmほど上の位置で行います。

収穫後は、下葉や不要な枝を整理し、階級別に束ねてから十分に水揚げします。水揚げの際はきれいな水を使用し、鮮度保持剤(クリザールバラ)の使用を推奨します。これは、バクテリアの増殖を抑え、水腐りを防ぐことから、水換えの手間を省くことができます。また、ここ近年保管時における実腐病被害が増えていることから、風通しのよい環境で保管をしましょう。

イチゴ

■ビニール被覆後の管理

11月~12月にかけては、日照時間が短くなり気温も低下してくるため、生育の環境条件としては厳しい時期となります。この時期に、樹勢を落とさないよう管理することが今後の収量に大きく影響します。また、交配用ミツバチが入蜂後、しっかりと訪花しているか確認をしましょう。

■保温管理

最低夜温が、紅ほっぺは10℃、きらび香では12℃を下回りはじめたら暖房を行きましょう。収穫時の草丈は30~35cm、展開葉数7~8枚を目安とし、生育が劣っている場合は早めに保温を開始します。

日中の低温は生育停滞や樹勢低下を招き、収量低下・奇形果発生を助長します。特に、午前中はやや高めの温度管理(26~28℃)に心掛け、光合成を促進させます。

■病害虫防除

頂花房にうどんこ病が発生し、減収となるケースが見受けられます。目視できる(うっすら粉がかかったように見える)状態では、すでに菌の密度が高いです。また、株に発病が見られない場合でも直接果実が発生することがあります。定植後は定期的なローテーション防除を行きましょう。

■摘果

樹勢を見ながら紅ほっぺは8~12果、きらび香は7~10果を目安に摘果しましょう。連続して花房が出た場合は、その後芯止まりとなる可能性がありますので、株の状態を確認し、必要に応じて補植してください。

■親株確保

親株は毎年購入することをお勧めしますが、余剰となった定植苗や、秋に発生するランナーをポット受けし、来春の親株として利用することもできます。ただし、炭そ病が発生した株は親株として使用しないでください。

春のランナー発生を多くするため、採苗した苗は十分低温にあてます。また、低窒素状態が続くと春先のランナー発生が抑えられてしまうため、月に一度IB化成S1(1~2粒/株)を施用し、肥料切れを起こさないよう管理しましょう。





しいたけ肉団子

～しいたけと豚肉のうま味がベストマッチ～



こだわり♪
レ・シ・ピ



スマホで動画もチェック!

「カンタン」「ナットク」料理のヒ・ケ・ツ教えます♪

材料 2人分

しいたけ …………… 8枚

【調味料A】

赤みそ …………… 小さじ1
オイスターソース …………… 小さじ1
砂糖 …………… 小さじ1

【肉ダネ】

豚ひき肉 …………… 100g
塩 …………… 少々
松の実 …………… 大さじ2
福神漬 …………… 大さじ2
プロセスチーズ(スモーク風味) … 20g
飾りの野菜(インゲン、赤パプリカ等)

作り方

(1) しいたけの準備をする

- しいたけは、ぬらして固く絞ったキッチンペーパーで拭く。石づきはキッチンバサミで切る。軸は引っ張って取る。
- ヒダを上にしたしいたけと軸を耐熱皿に並べる。ラップはせず、600Wの電子レンジで80秒加熱する。
- 軸は8mm角程度の粗みじん切りにする。Aを混ぜ、かさの内側に塗る。

(2) その他の材料の準備をする

- 福神漬は、刻んで軽く水気を拭く。プロセスチーズは8mm角程度に切る。
- ボウルに福神漬、チーズ、しいたけの軸、松の実を入れ、さっと混ぜる。

(3) 混ぜて成型する

- (2)とは別のボウルに豚ひき肉と塩を入れて粘りが出るまで混ぜる。(2)を加えてさっと混ぜる。
- 肉ダネを4等分して丸め、しいたけのかさで挟む。

(4) 簡単蒸しで仕上げる

- 80cm程度に切ったアルミホイルを2枚用意する。2枚を重ねて直径2cm程度のひも状にねじり、直径20cm程度の円形を作って深型フライパンにおき、水を200ml程度注ぐ。
※蒸し器があれば、それを使用しても構いません。



- (3)を並べた皿を、アルミホイルの輪の上のせる。点火し、中火で蒸気が出るまで加熱する。
- 蒸気が出たら、ぴったりとフタをし、そのまま8分蒸す。皿に盛る。

／ すぐにできる!もう1品♪ ／



無限しいたけ

しいたけとツナで作るお手軽副菜。味付けは、ごま油、梅肉、かつお節、ポン酢。梅干しの酸味とかつお節の風味でさっぱり食べられます。



遠山 由美

野菜ソムリエ上級プロ
NR、食育プロデューサー
他<略歴>

日本初の「シニア野菜ソムリエ」第1号取得者。野菜や果物の魅力を料理、栄養学、食育など多くの手法で伝え、生産者と消費者の掛け橋として、テレビやラジオなど多方面で活躍中。

旬のまめ知識



しいたけ

紫外線を浴びると皮下で合成されるビタミンD。骨を丈夫にしてくれる働きに加え、免疫機能を調節する働きにも注目が集まっています。日射に恵まれた日本では「不足の心配なし」とされてきましたが、過度の紫外線対策や外出忌避は不足の原因に。野菜・果物・穀類・豆類にはゼロ、肉類・乳製品の多くもゼロ、卵黄とキノコ類には少々、脂ののった魚には豊富に含まれるビタミンD。食物繊維豊富なシイタケなら腸内環境改善の点からも免疫力バックアップが期待できます。

農業の未来とSDGs

vol.20

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsは国連が定めた、地球の明るい未来のための17の目標。

JALみずは2019年12月にSDGs宣言をしています。



国連が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)の理念は、協同組合の「相互扶助」の活動に通じます。

このコーナーでは、JAのSDGsともいうべき協同活動を中心に、自己改革や新たな取り組みを紹介しています。



8月3日 肥料高騰に対する助成のお願い

JALみず柴田篤郎組合長とJA静岡市大原正和組合長は8月3日、静岡市田辺信宏市長を訪問し、肥料価格高騰に苦しむ農家への助成をお願いしました。ロシアによるウクライナ侵攻や中国の輸出規制、円安等の影響により急激に肥料価格が高騰。政府は化学肥料2割低減の取り組みを行う農業者に対し、肥料コスト上昇分の7割を補填する

JAみず・JA静岡市、静岡市政への政策要請 肥料高騰対策として助成金要請

仕組みを創設しました。これを受けて両組合長は、「農業をやめざるを得ない農家も出ている。非常事態である」事を強調。静岡市としても独自の助成を緊急に考えてほしいと要請しました。また、助成制度については農家、JAにとって分かりやすく簡単な仕組みにしてほしいと付け加えました。

田辺市長は「両トップの熱い気持



8月31日 静岡市に対する要請書を提出

ちを受け取った。静岡市と両JAが協力して、何ができるか前向きに検討を進めたい」と話しました。また、31日にも田辺市長を訪問し、2023年度の市に対する要請書を提出しました。新規要請案件として、新規就農者への支援強化、燃油・農業資材等の価格高騰対策の実施、有害鳥獣対策の強化などを加え、継続案件としては、地産地消と消費拡大の推進、共同利用施設の更新費用の助成、茶振興対策、土地改良対策の強化など、合わせて12項目を要請しました。

意見交換の中で柴田組合長は、「要請は全てJA組合員の声」と話し、大原組合長は「持続的な農業経営のために、行政にお願いする事は多いが前向きに検討してほしい」と話しました。これに対し、田辺市長は「SDGs17の目標の中で一番大事なのは17番目のパートナーシップ。とにかく連携して問題解決に努めたい」と話していました。

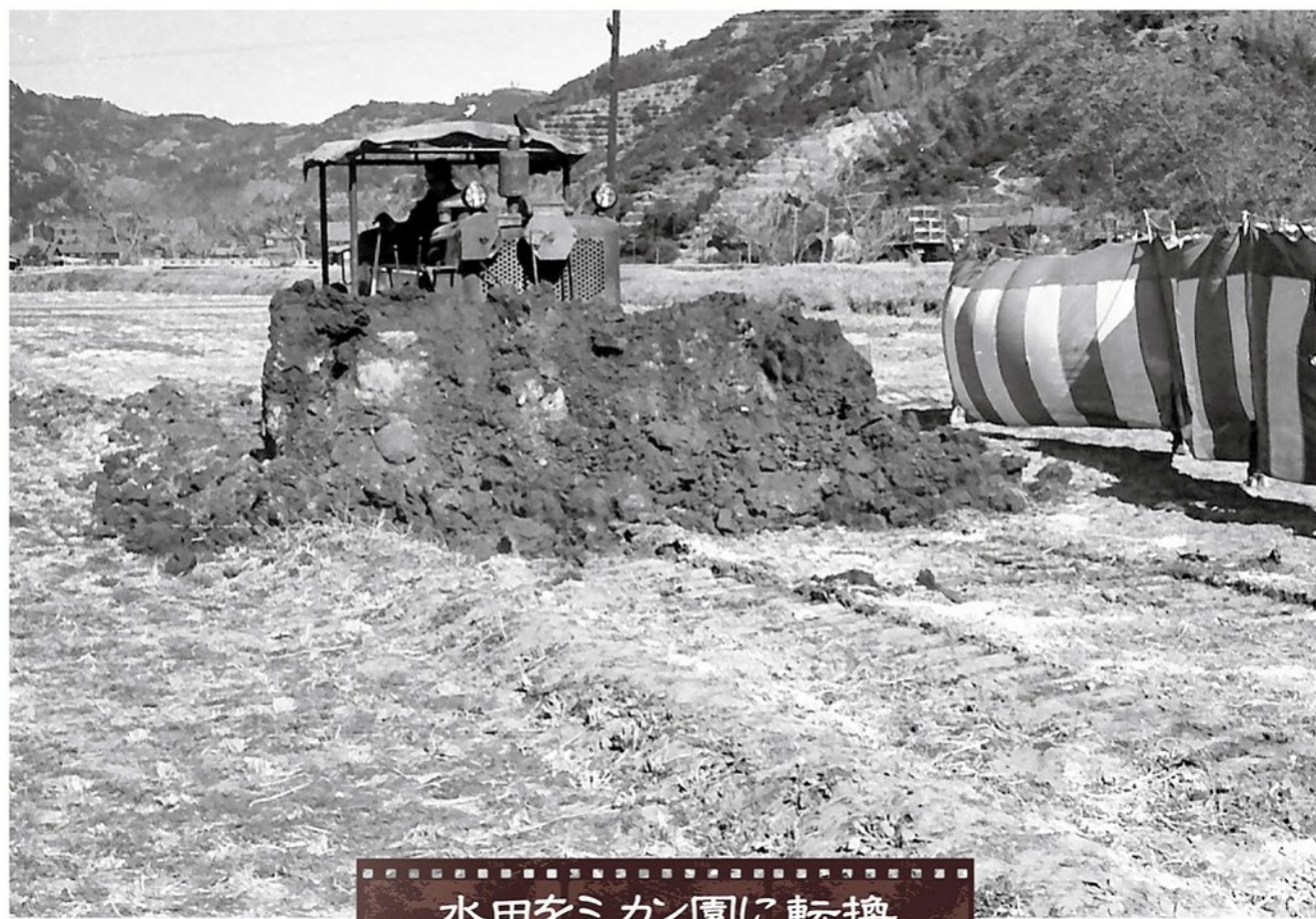
当JAは、持続可能な農業を目指す時、行政への要請は大切な活動の一つだと考えています。これからも、組合員の意見を伝える大切な活動として、毎年行っていく予定です。

このコーナーでは、清水区内の昔懐かしい風景や行事、建物などの古い写真を随時募集します。

珍しい古い写真をお持ちの方は、広報課(TEL367-3221)までぜひご一報ください。



清水の歴史を
貴重な資料で振り返る
[archive-42]



水田をミカン園に転換

1961年2月2日 資料：(庵)農協だより80号

ゴ「ゴーツー」とブルドーザーが水田の土を力強く削っているのが伝わってくるような写真は、1961(昭和36)年2月2日に清水市(当時)山切地区で写された1枚です。水田を重機で造成し、ミカン園に転換している様子です。

庵原地域はかつて全国でも有数のミカン産地でした。ミカンの園地は年々増えていきましたが、急傾斜地が多く、過大な労働条件と園地の老朽化が問題になっていました。

そこで取り組んだのが水田をミカン園に切り替えるという方法でした。当時、山切地区には17ヘクタールもの水田がありました。水田をミカン園に転換できれば、労働環境と園地の若返りができると、農家が農協と共同で作業に乗り出しました。

スタートとなったのが、1961年2月2日の「水田のミカン園鋤入式」です。

その様子は庵原村農協の広報誌、(庵)農協だより80号に載っています。「山切地区のミカン園老朽化の若返りとして実施した」とあり、鋤入式典後に水田をブルドーザーで造成し、ミカン園に切り替えました。

ミカン園は、時代の変換とともに変化し現在は住宅地になっています。

JALみずのSNSをフォローしよう!

Instagram



JALみずでは組合員や地域住民へ情報をいち早くお届けするためにSNSでの情報発信に力を入れています。

2020年3月にJALみず公式Instagramを開設し、その後、アンテナショップきらり、青壮年部・女性部もアカウントを開設しました。

「#JALみず」のハッシュタグをつけて投稿し、情報発信してくれるユーザーが増えています。

NEW



JALみず青壮年部・女性部(公式)
@ja_shimizu_youth_woman

青壮年部と女性部が合同で、7月に開設。活動に興味を持つ農業者や地域住民に向けて情報を発信しています。



JALみず(公式)
@ja_shimizu_shizuoka

JALみずのファンづくりを目的に旬の農産物や新商品、イベントなどの情報を投稿しています。



JALみず きらり
@kirari.ja_shimizu

四季菜Gelato&Caféきらりの人気メニュー「#本気のかき氷」をはじめ、商品イベントなどの情報を随時アップ。

ハッシュタグとは?

Instagramの投稿文中に打ち込む「#(記号)」のことです。ユーザーはハッシュタグを使ってInstagramの投稿を検索・閲覧することができます。

「#〇〇好きと繋がりたい」などのハッシュタグでユーザー同士が繋がれ、SNS内で交流を深めています。



YouTube

地元農産物を使った料理動画、青壮年部・女性部活動の様子などをアップしています。



銀杏の薄皮の取り方 ~ぎんなんの素揚げ~
【JALみず】
JALみず公式・220 回視聴・10 か月前



Facebook

Instagramと連携しながら情報を発信しています。投稿を見たユーザーがシェア機能で、投稿を拡散しています。



JA静岡厚生連 特別養護老人ホーム いはらの里

病院併設で安心 一人ひとりに合わせた支援

特別養護老人ホーム「いはらの里」は、清水厚生病院の5階・6階部に併設された老人福祉施設です。全国初の病院併設型施設として2009年5月より運営しております。

「その人らしさ」を大切に

いはらの里の理念は「その人らしく生きること」です。入所前の生活を理解し、一人ひとりに合った環境をできるだけ提供したいと考えています。病院の中に施設があることで、医療との連携も密接です。入所者の方々の負担が少ないだけでなく、職員も施設を空ける時間が減り、その分他の方のケアにあたる利点があります。

当施設では、静岡県が推進する「身体拘束ゼロ宣言」を実践し、入所者の方の人権・尊厳に配慮した介護を行っています。また、一日の過ごし方や食べ物の好き嫌い、家族・仕事などの生活歴や趣味・特技などをお聞きして、スタッフが入所者に合わせたケアを行い、施設が「生活の場」としてより良いものになるように心掛けています。

手足を動かし声を出すリハビリ体操や、紙芝居、ボール遊びなどのレクリエーションなどを楽しんで過ごしています。

※インフルエンザ・新型コロナウイルス等の感染症対策を確実に行っております。



誕生日会や敬老会などさまざまなレクリエーションを楽しむことができます



JA静岡厚生連 特別養護老人ホーム いはらの里

静岡市清水区庵原町578-1
TEL:054-366-3653 担当相談員:石川

入居等のご相談は、電話、またはホームページからお気軽に
お問い合わせください。

<http://ihara.ja-shizuoka.or.jp/>



ホームページ

メモリアル清水

1 いつでもどこでも「事前相談」 事前相談でクーポン券進呈

ご葬儀や仏事について、ご質問、ご相談や各ホールの見学を随時承っております。

「葬儀ってどのくらい費用がかかるの?」「準備や段取りについてどうしたらいい?」など、何でもご相談ください。

事前相談をされた方には湯かん無料クーポン券(4.2万円相当)を進呈しております。

2 メモリアル清水の「家族葬」

ご家族・近親者だけのお見送り、ご家族のお気持ちに寄り添うオーダーメイドのご葬儀をご提案。ご希望にできるだけお応えいたします。何でもご相談ください。

家族葬プラン(プレミアム会員)

- いはらホール(基本20席)
 - 日本平ホール(基本30席)
- 39.6万円(税込み)～



●お問い合わせ

メモリアル清水 TEL.0120-673-101

葬儀受け付けは24時間365日対応いたします

こんな電話は「詐欺」です!

静岡県警によると、県内で2022年に起きた特殊詐欺、キャッシュカードの詐欺は290件、5億5,187万円(9月14日時点)に上ります。

特殊詐欺被害者の9割以上が65歳以上、65歳以上の被害者のうち8割が女性です。一人暮らしや昼間家に一人の方が被害に遭うケースが高くなっています。

知らない番号からの電話で「お金」「キャッシュカード」の話などは、必ず家族や警察に相談しましょう。

一犯人の手口一

- 市役所です。還付金があります。
- オレだよ。カバンを落とした。
- 医師です。息子さんが咽頭ガンかもしれません。
- 警察です。犯人から押収した名簿に名前が載っていました。
- 郵便局員です。あなたの口座が犯罪に使われています。



JA由比・袖師支店は、特殊詐欺を未然に防いだとして、清水署から表彰を受けました(9月13日)

理事会だより

定例理事会 8月25日(木)

議事

- 令和5年度 理事候補者選考に向けた基本方針等について
- 固定資産の賃借について



FMしみず「JA旬の玉手箱」放送中

エフエムしみず・マリパルで「JA旬の玉手箱」を放送中! 生産者やJA職員が旬の話題をお届けします。

FM マリパル


FMラジオ 76.3MHz
毎週水曜日 12:30～





パーソナリティー
夏木かおり


編・集・後・記


今月も「しみずの風」をお読みいただき、ありがとうございました。

 白米が好きな私。“ごはんのお供”があれば、生きていけるかも?と思えるほど。でも栄養が心配。栄養を補う“ごはんのお供のお供”があったら良いかもと思ひ、周りの人に賛同を求めたが誰一人として、うなずく人はいなかった。寂しい。(伊藤)

 年末に向け、断捨離を始めた。これまで年賀状、クリスマス、大掃除、お正月の準備と、12月に一気にやるうとしていたことが、そもそもの敗因。まずは物を減らして掃除をしやすく。早めのスタートで今年こそゆとりある年末を迎えたい。(杉山さ)

 清水が生んだスーパースター、お笑い芸人ハリウッドザコシショウの単独ライブがマリナートで行われたので、見に行ってきました。静岡の人はリアクションが薄いと言われていますが、会場は非常に盛り上がっていました。(見宮)

 6月に漬けた梅シロップができあがったが、今年は氷砂糖を入れすぎたせいかずいぶん甘くなってしまった。インスタで氷砂糖の代わりに金平糖で漬けている投稿を見つけたので、来年は甘みを抑えつつ、映えにも挑戦したい。(村岡)

 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」を毎週楽しんでいる。北條義時などがドラマの中で酒を飲むシーンが多くある。酒のつまみなしでぐいぐいやっていることが多いが、あれではアル中になってしまうのでは、と心配するのは私だけかも。(杉山滋)

渋川中公園

しぶかわなかこうえん



清水保健福祉センターの近くにある「渋川中公園」は、ジャングルジムとローラーすべり台が一体化した大きな遊具がシンボルです。その他、ブランコや砂場、鉄棒といった定番の遊具も充実しています。

園内は木々が生い茂っていて、休日は虫取りなどを楽しむ地元の子どもたちで賑わっています。ベンチが多く設置されているので、保護者は木陰で涼みながらお子さんを見守ることができます。大きな自由広場が園内の半分以上を占めており、伸び伸びと走り回れます。また、広場はネットで囲われているため、安心してボール遊びなどもできます。

概要

所在地：静岡市清水区
 渋川2丁目69

駐車場：無
 トイレ：有

アクセス

しずてつバス 静岡清水線
 「渋川保健センター入口」
 バス下車、徒歩4分



球技などが楽しめる自由広場

